

令和4年12月12日 経済環境委員会資料 商工労働部

目次

【報告事項】

- 1 キャッシュレス決済ポイント還元事業（第3弾）の実施結果について
（商業労政課）… 1 頁
- 2 コンパクトデリトヤマのスペースの撤去・改修について
（観光政策課）… 2 頁

1 キャッシュレス決済ポイント還元事業（第3弾）の実施結果について

[商業労政課]

1 概要

キャンペーン期間	令和4年9月1日（木）～10月31日（月）
対象店舗	中小企業者 （大手企業の店舗や全国展開するフランチャイズ店除く）
キャッシュレス決済サービス	2事業者（au PAY、d払い）
対象店舗数	2,790店舗（8月31日時点） 「au PAY、d払い」両方導入1,951店舗 「au PAY」のみ導入618店舗、「d払い」のみ導入221店舗
ポイント還元率	20%
ポイント付与上限	1,000円相当/回、 5,000円相当/期間（1キャッシュレス決済サービスあたり）

2 実施結果

ポイント還元金額	1億3,612万円（11月末日時点の速報値）
経済効果（直接効果）	6億8,060万円

3 執行状況

	予算額	執行額	差引
還元額分	500,000千円	136,117千円	363,883千円
事務費分	60,000千円	14,199千円	45,801千円
合計	560,000千円	150,316千円	409,684千円

4 不用額について

令和5年3月議会に減額補正予算案の提案を予定している。

2 コンパクトデリトヤマのスペースの撤去・改修について

[観光政策課]

1 コンパクトデリの設置から休止までの経緯について

富山国際会議場のコンパクトデリトヤマ（カフェ）は、平成27年度に国庫委託費を活用し、旧カフェ・ド・ミュゼ等を改修し設置していたが、コロナ禍前から周辺の人通りが少なく、特に平日の利用が少ないことから、コンパクトデリの運営受託者から従来の委託料では運営出来ないとの申出があったため、令和2年4月16日からコンパクトデリを休止している。

2 交流ギャラリーへの改修について

昨今では、富山国際会議場周辺において、ホテルのカフェなど民間の飲食店も開業していることや、催事の予定のない日には、経費削減のために国際会議場を休館させていることがあり、コンパクトデリを再開することで、民業圧迫に繋がる懸念や、空調などの経費が増えることから、そのスペースをより有効に活用できる既存の「交流ギャラリー」の一部となるよう改修するもの。

3 交流ギャラリーの拡張について

コンパクトデリのスペースを取り込み、「交流ギャラリー」の一部となるよう拡張することで、ポスター展示や商品等の展示会、レセプション会場など活用の用途が広がる。

【参考】交流ギャラリーの稼働率（コロナ禍前）

$$H30 \quad \text{実利用日数(219日)} / \text{利用可能日数(343日)} = 63.8\%$$

4 撤去・改修費について

指定管理者である富山大手町コンベンション(株)が富山国際会議場の指定管理料で賄う。

